



広報

さむかわ

4

No.711
April
2019

レディオ湘南で 町広報番組 『「高座」のころ。』を スタートします！



問 広報戦略課 内線232
広報プロモーション担当
FAX(74)9141

町ブランドの核である「人のころ」や寒川ならではの魅力的な「コト」にフォーカスした番組を毎月1回レディオ湘南で放送します。

パーソナリティと町で頑張っている人との会話の中で、「人のあたたかさ」と町の魅力をラジオでも感じていただけたら嬉しいです。

第1回目は4月5日(金)に放送です。



番組チャンネル レディオ湘南 83.1ヘルツ
番組名 町広報番組 「高座」のころ。

放送日 第1金曜日 午後2時～2時10分
パーソナリティ 田畑智朱希さん

レディオ湘南は、
アプリでも聴くこ
とができます。
詳しくはこちら▶



目次 CONTENTS

P2 今月のトピックス 今月の表紙 2

P3-5 特集1 2019年度施政方針

P6-7 特集2 平成31年度当初予算の概要

P8-14 クローズアップ Close UP! さむかわ

倉見駅の既設自転車等駐車を一部閉鎖します	8	ブロック塀の撤去費用等を一部補助します	10	国民健康保険と国民年金保険についてのお知らせ	12
休日・夜間救急診療体制が変わります	8	パブリックコメント	10	町防災情報サービスを始めます	12
産婦健診と新生児聴覚検査の費用を助成します	9	大型連休に伴う湘南パスポートセンターの利用について	10	国民年金学生納付特例制度をご存じですか？	12
子育て支援事業実施団体の活動費を一部補助します	9	さむかわ中央公園・体育館の一部利用制限について	10	「みんなの協働事業提案制度」の事前相談を受け付けます	13
本棚のだ〜なくん	9	コミュニティバス「もくせい号」最新情報	11	わたしの提案(町長への手紙)	13
不用物品の有効利用	9	コミュニティバス平均乗車人数	11	第12回 寒川を築いた人たち	13
		町民ボランティア団体等登録制度	11	審議会等委員募集	14

P15 さむかわReport

P16-21 インフォメーション information

P22-23 4月のカレンダー

寒川町家族防災会議の日	22
人口と世帯	23

P24 インスタグラム Instagram Samukawaii GALLERY

今月の表紙

今月の表紙は、3月1日にオープンした「FLATPARK」で行われたオープニングイベントの様子です。オープニングイベントでは、無料スクールが開催され、多くの子どもたちがFLATPARKへ訪れました。「FLATPARK」は、休止中の町営プールに設置され、平日は午後2時から午後10時まで、土日は午前10時から午後10時、不定休で開いています。BMXバイクは、無料貸し出しをしていますので皆さんもぜひ行ってみてください。



特集1

2019年度 施政方針

木村町長は、2019年寒川町議会第1回定例会3月会議において、2019年度の町政に対する基本的な考え方や実施する主な施策の概要などの施政方針を述べました。

企画政策課 ☎内線211
企画行革担当 FAX(74)9141

町政に対する基本的な考え方

町のブランド・スローガン『「高座」のころ。』を掲げた昨年は、これまでの町にはなかったような新たな展開に着手した年でありました。

こうした流れのなか、BMXフラットランド、スケートボード、ブレイキン(ブレイクダンス)の3競技の世界大会である「ARK LEAGUE」(アークリーグ)が本年4月に本町において開催されることとなり、町のさらなる魅力向上に向けて多くの方々から期待

が寄せられております。

今後につきましても、町総合戦略の4つの基本目標に基づき、安定した仕事の創出、町の認知度向上や移住・定住の促進、子育て支援や教育内容・環境の充実、安全・安心なまちづくりと若者の町政への参画促進を柱に重点的に取り組みながら、事業の「選択と集中」をさらに進め、施策・事業間の連携強化を図るとともに、地域主体・町民協働によるまちづくりを町政運営の基本とし、町民の皆様とこうした状況を共有しながら、「若い世代からも選ばれる町」を目指します。



ARK LEAGUE 2019 IN SAMUKAWA

時 4月27日(土)午前9時～午後7時30分 28日(日)午前10時～午後9時
29日(月)午前7時30分～午後9時

※時間は競技により異なり、変更になる場合があります。

所 さむかわ中央公園およびシンコースポーツ寒川アリーナ(寒川総合体育館)

※観覧には一部有料席があり、会場の駐車場・駐輪場には限りがあります。

詳しくは、町ホームページや後日配布するパンフレットをご覧ください。

2019年度主な取り組み

町の事業は、町総合計画に掲げた町の将来像の実現に向けて、3つの基本姿勢と5つの基本目標から構成されています。2019年度もそれをもとに事業を実施していきます。主な取り組みを紹介します。

基本姿勢1 町民との協働によるまちづくりの推進

- 協働事業提案制度を見直し、新たな事業の募集、選考、採択
- 「広報さむかわ」創刊から70周年の節目を迎えるにあたり、町広報紙の歴史・変遷についての企画展(寒川文書館)の実施
- SNSインスタグラムを活用した情報発信の充実
- eマーケティングリサーチ制度(※)の充実

※eマーケティングリサーチ制度とは、パソコンやスマートフォンなど、登録モニターを対象としたインターネットによるアンケート調査です。



基本姿勢2 広域行政によるまちづくり



- 藤沢市および茅ヶ崎市と構成する湘南広域都市行政協議会や海老名市との広域連携の継続
- 茅ヶ崎市との消防広域化や休日・夜間における初期救急医療体制に係る連携の推進

基本姿勢3 地方分権の推進と自律的な行財政運営

- 『「高座」のころ。』を旗印としたブランディング
- コミュニティバスのバス停をブランドカラーに施したものへと全面リニューアル
- 地域コミュニティFM放送などを活用した広報番組の制作
- 施設ごとの更新計画等を取りまとめた町公共施設再編計画の策定に向けた取り組み
- コンビニエンスストアでの住民票の写しと印鑑登録証明書の交付(来年3月から)



2018年にブランディングによる魅力あるまちづくりのための職員プロジェクトチームを発足

基本目標 1 快適でにぎわいのあるまちづくり

- ・舗装道路の路面性状調査の実施
- ・倉見駅のエレベーター設置に向けた取り組み
- ・コミュニティバス「もくせい号」東ルート小動東部地区への一部ルート延長(実証運行)
- ・町民ボランティア団体との協働による野良猫の不妊・去勢手術助成制度の実施
- ・ツインシティ倉見地区のまちづくりおよび新幹線新駅設置に向けた取り組み
- ・寒川南インターチェンジ周辺の田端西地区の市街化区域の編入手続き



基本目標 2 環境と共生したうるおいのあるまちづくり

- ・緑化に対する意識の向上や緑化の推進
- ・家庭用燃料電池システムの設置補助のほか、住宅用太陽光発電システムの設置および電気自動車購入促進・啓発
- ・ごみの減量化・資源化の推進と意識啓発
- ・災害廃棄物処理計画の策定



基本目標 3 安心して生きがいのあるまちづくり

- ・休日夜間における茅ヶ崎市地域医療センターの利用による初期救急医療体制の充実
- ・産婦健康診査の費用助成
- ・新生児聴覚検査の実施と検査費用の助成
- ・保育所等に係る相談などの対応のための保育コンシェルジュの配置
- ・旭小学校区の新たな児童クラブの設計と一之宮小学校区のわんぱくクラブのトイレの洋式化
- ・75歳以上の一人暮らしを対象にした防災情報サービスの活用
- ・洪水ハザードマップの更新とマイタイムラインの導入
- ・木造住宅に対する耐震診断や耐震改修工事、危険なブロック塀等の撤去の促進



基本目標 4 豊かな心と文化をはぐくむまちづくり

- ・「パンプトラックさむかわ」を活用した教室等の開催
- ・町営プールの2021年度開場に向けた取り組み
- ・学校運営協議会の設置
- ・小・中学校へのパソコン配備の充実
- ・全小学校の普通・特別教室等へのエアコンの設置とトイレの洋式化
- ・2023年度実施予定の小・中学校の給食センター方式による完全給食の実施に向けた取り組み
- ・いじめ問題での重大事態発生時に対応するための調査委員会の設置
- ・青少年広場のトイレを公衆用トイレに新設



基本目標 5 魅力ある産業と活力あるまちづくり

- ・個人商店への町商工会と連携した支援
- ・花川用水路の長寿命化工事の実施
- ・エコノミックガーデニング専用ホームページでの町内企業の求人情報発信の試験運用の開始
- ・寒川駅・宮山駅から寒川神社やわいわい市への観光案内板の整備
- ・観光客向けのシェアサイクル実施の可能性についての調査・研究



2017年、町内企業の若手経営者および後継者が集まり、経営能力を向上するため、さむかわ次世代経営者研究会を発足

平成31年度当初予算の概要

平成31年寒川町議会第1回定例会3月会議で平成31年度当初予算が成立しました。

町の運営に必要なお金の収入と支出について、その概要をお知らせします。

※金額は、表示単位未満を四捨五入しているため、合計は一致しません。

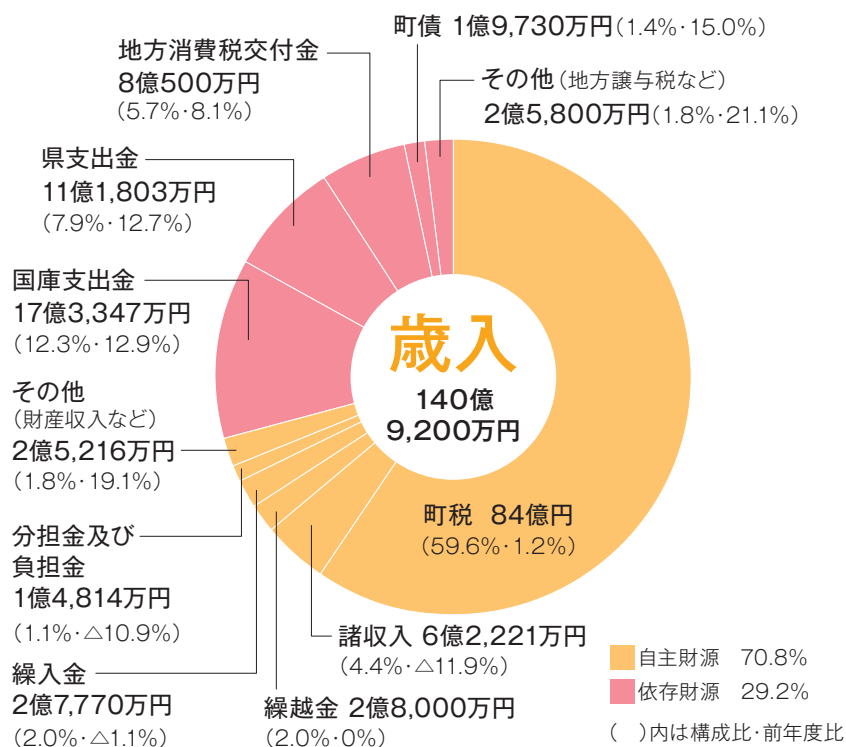
問 財政課 内線221 財政担当 FAX(74)9141



各会計予算

会計名		本年度当初予算	前年度当初予算	前年度比
一般会計		140億9,200万円	136億200万円	3.6%
特別会計	国民健康保険事業	50億5,938万円	51億6,530万円	△2.1%
	後期高齢者医療事業	9億6,646万円	9億1,562万円	5.6%
	介護保険事業	33億9,968万円	31億7,903万円	6.9%
	(仮称) 健康福祉総合センター用地取得事業	0円	7,833万円	皆減
企業会計	下水道事業	22億6,980万円	22億4,954万円	0.9%
合 計		257億8,732万円	251億8,982万円	2.4%

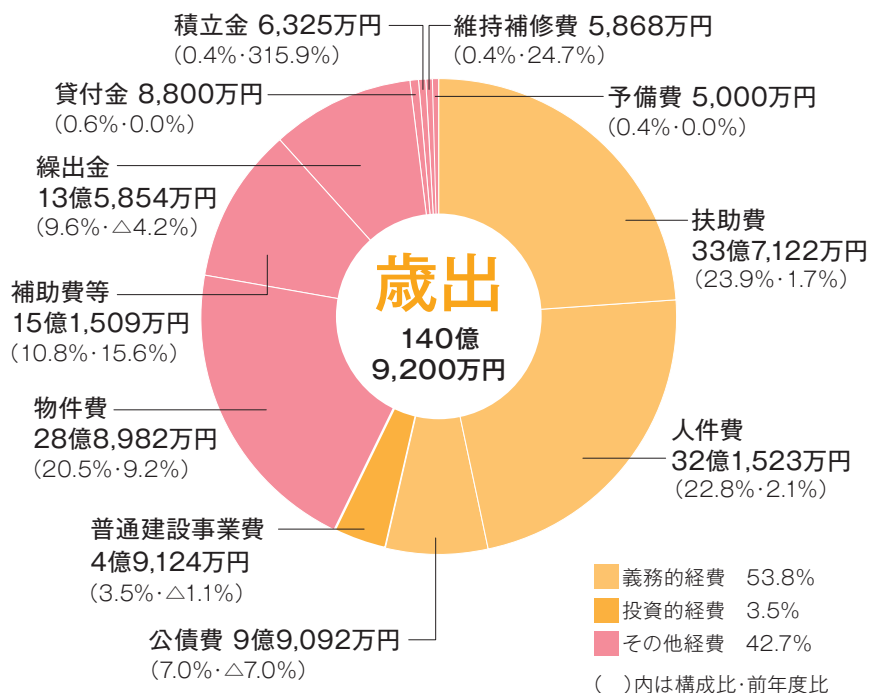
一般会計予算



歳入の概要

町税など、町が自主的に得て独自に用途を決めることのできる自主財源と、国や県により定められた額が交付される依存財源の構成比は70.8%対29.2%となり、前年度比で2.3%自主財源が増え、依存財源が減りました。歳入の根幹である町税は、個人町民税が回復基調にある景気の波及効果が個人所得の伸びに影響し始めていることから前年度比で0.5%の増、固定資産税の家屋において新築家屋の増から前年度比で4.6%の増とし、町税全体では前年度比で1億円、1.2%の増となりました。諸収入は、事業完了に伴う聖天橋架替事業に係る県負担金と茅ヶ崎市負担金の減などにより、8,433万円、前年度比11.9%の減となりました。

歳出の概要



支出が義務づけられ、任意に削減することができない義務的経費は前年度比で0.6%増の53.8%、道路や学校の整備などに対して支出する投資的経費は前年度比で1.1%減の3.5%となりました。扶助費は、子どものための教育・保育給付費や障害福祉サービス費の増などにより、前年度比1.7%の増となりました。維持補修費は、小学校維持管理経費の増などにより、前年度比24.7%の増となりました。積立金は、東海道新幹線新駅整備基金への積立金の増により、前年度比315.9%の増となりました。公債費は、新規償還の開始があるものの、償還期間満了による元金の減や高利率であった地方債の償還終了などにより、前年度比7.0%の減となりました。

財政調整基金(町の貯金)

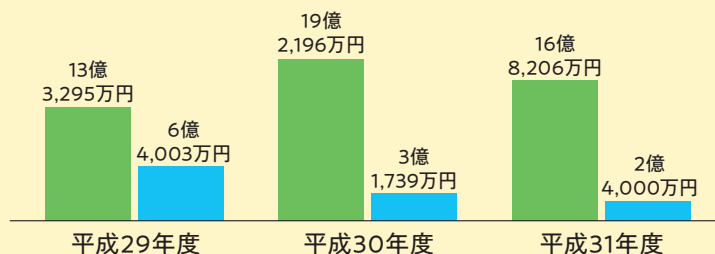
平成30年度末の財政調整基金残高は19億2,196万円となる見込みです。

本年度は2億4,000万円を取り崩し、利子分10万円を積み立てる予定なので、本年度末の残高は16億8,206万円となる見込みです。

自治体の財政調整基金残高の目安として、予算規模の10%程度が望ましいと言われています。

町の割合は一般会計予算約141億円に対して16億8,206万円の貯金ですので、11.9%となります。

過去3年間の貯金残高と繰入金投入額(取り崩し額)



※平成29年度は決算額、平成30年度は当初予算と補正予算額の合算、平成31年度は予算額を反映しています。

町債(町の借金)

町民一人あたりに換算すると、平成31年度末で15万8,180円となり、前年度(16万455円)と比較すると、2,275円減となりました。

なお特別会計および企業会計を含めた町全体の借金残高は135億4,635万円となる見込みで、町民一人あたりでは28万2,216円となり、前年度の28万9,549円と比較すると7,333円減となりました。

※町民一人あたりの金額は、町の人口を48,000人と想定し、計算しました。

過去3年間の一般会計借金残高の推移



※平成29年度は、決算額、平成30年度は当初予算と補正予算額の合算、平成31年度は予算額を反映しています。